土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　　査　　　名 主要地方道　大崎上島循環線　橋梁補修工事に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

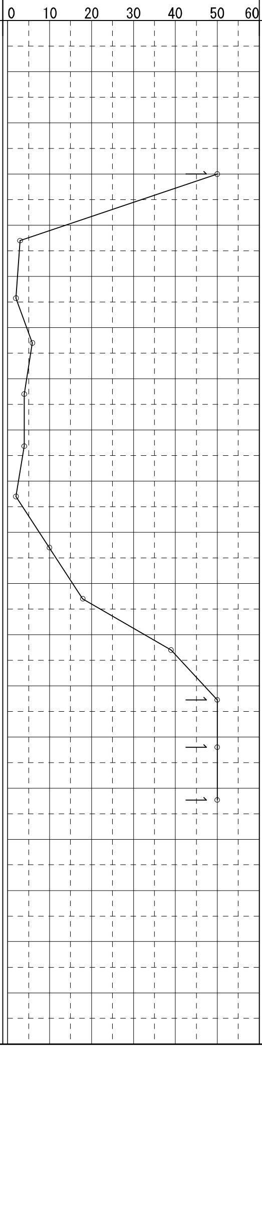
調査目的及び調査対象 道路　護岸

ボーリング名	Bor.No.1	**調査位置**	広島県豊田郡大崎上島町木江地先	**北　緯**	34°13’34.3400″
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所	**調査期間**	平成29年10月25日～平成29年10月31日	**東　経**	132°55’02.0000″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人** / **コア鑑定者** / **ボーリング責任者**	
孔口標高	ＴＰ 1.54m	**角度**	180° 上 下 90° 0° 0°	**方向**	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	15.00m	**地盤勾配**	0° 水平 0° 鉛直 90°	**使用機種**	

使用機種			
試錐機	東邦地下工機　D1-B48		
エンジン	ヤンマー　TF120M	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3B

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	地質時代
-2.06	3.60	埋土	Sm-R	灰 / 淡褐 / 灰			護岸のコンクリート。コンクリートは一体的ではなく，長さ20cm以下の柱状コアおよび礫状コアとして採取され，全体としては玉石混じり礫状である。深度1.0mまでは柱状コアとして採取され，コンクリートの占める割合が高い。深度1.0m以深では柱状コア部は断続的となり，礫状コアの区間の割合が高く，所々にコアが採取されない区間がある。コンクリートの柱状コアは硬質で，ハンマーの打診で高い音を発する。礫状コアはコンクリートの粗骨材と同じ黒色の硬質な角礫であり，直径は0.5～3cmである。深度2.65～2.80mの間には，黒色の角礫が混じる中砂主体の海浜砂が挟まれる。	完新世・（護岸構造物）
-6.36	7.90	砂	{S}	淡褐	rd1 / rd2		緩い海浜砂。中砂・粗砂を主体とする粒径均一な砂で，細粒分をほとんど含ず，貝殻片が混入する。層相は均一であり，深度6m付近を境に上下でN値の傾向が変わるもののコアの外観に変化は認められない。上部の深度4.0m付近までは直径0.5～3cmの角礫が混入する礫混じり砂。下位層との境界は明瞭である。	完新世・（上部砂礫層）
-6.86	8.40	砂質シルト	{Cs}	暗灰		rc1	砂分を20～30%含む軟らかいシルト。貝殻片が混入する。	完新世・（上部粘土層）
-8.36	9.90	シルト質砂	{SF}	暗灰	rd1		細粒分が30～40%を占めるシルト質砂。砂分は細砂～粗砂を均等に含む。含水比が高く，貝殻片が混入する。上位の砂質シルト層との境界は不明瞭。	完新世・（上部粘土層）
-10.71	12.25	砂礫	{GS}	灰 / 淡灰	rd3		凝灰岩の角礫を多く含む砂礫。礫は直径4cm以下で，礫分は40%程度である。基質は粗砂主体の粘土混じり砂からなる。深度10mの貫入試料は礫分が少なく，基質は粘土質砂からなる。深度10.6m付近を境に明るい色調となる。	更新世・（下部砂礫層）
-11.46	13.00	強風化凝灰岩		黄褐			岩盤の強風化部。岩石組織は熱水変質により失われている。粘土質砂質礫の土砂状コアとして採取される。	（基盤岩類）
-13.46	15.00	風化凝灰岩		褐			風化と熱水変質を受けて軟質化した凝灰岩。岩石組織は全体的に不明瞭である。ハンマーの軽打で粉々になる程度の硬さの柱状コアを主体としており，所々に風化の弱い部分が礫状に残っている。（D級，軟岩I）孔内水位は海水面とほぼ等しく，変動する。	（基盤岩類）

標準貫入試験



深度 (m)	N値	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3.00	50以上	貫入不能			50/0	0	
4.15～4.45	3	1	1	1	3/300		
5.15～5.70	2	1/270	1/280		2/550		
6.15～6.45	6	2/110	2	2/90	6/300		
7.15～7.45	4	2/120	1/90	1/90	4/300		
8.15～8.48	4	2/150	1/90	1/90	4/330		
9.15～9.45	2	1/180	1/120		2/300		
10.15～10.45	10	2/110	3/90	5	10/300		
11.15～11.45	18	6	6	6	18/300		
12.15～12.45	39	9	12	18	39/300		
13.15～13.40	50以上	15	21	14/50	50/250	250	
14.10～14.30	50以上	27	23		50/200	200	
15.15～15.31	50以上	31	19/60		50/160	160	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
4.00～4.45	P-4	⊖
5.00～5.70	P-5	⊖
6.00～6.45	P-6	⊖
7.00～7.45	P-7	⊖
8.00～8.48	P-8	⊖
9.00～9.45	P-9	⊖
10.00～10.45	P-10	⊖
11.00～11.45	P-11	⊖
12.00～12.45	P-12	⊖
13.00～13.40	P-13	⊖
14.00～14.30	P-14	⊖
15.00～15.31	P-15	⊖

室内試験：なし　原位置試験（深度・試験名及び結果）：なし

削孔月日

深度 (m)	月日
0.00	10/25
3.60	10/26
11.00	10/27
12.45	10/28
15.00	10/30